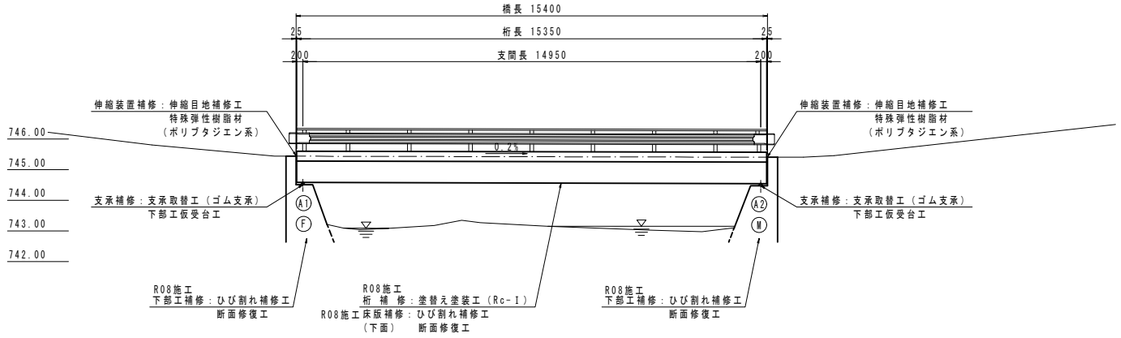
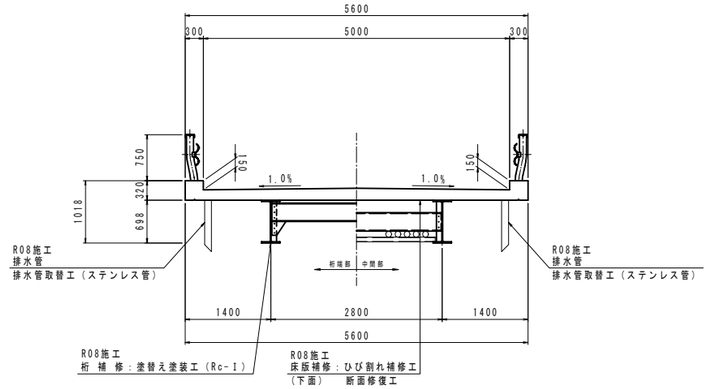
町道7号線　小横川橋補修一般図

側面図　S=1:100



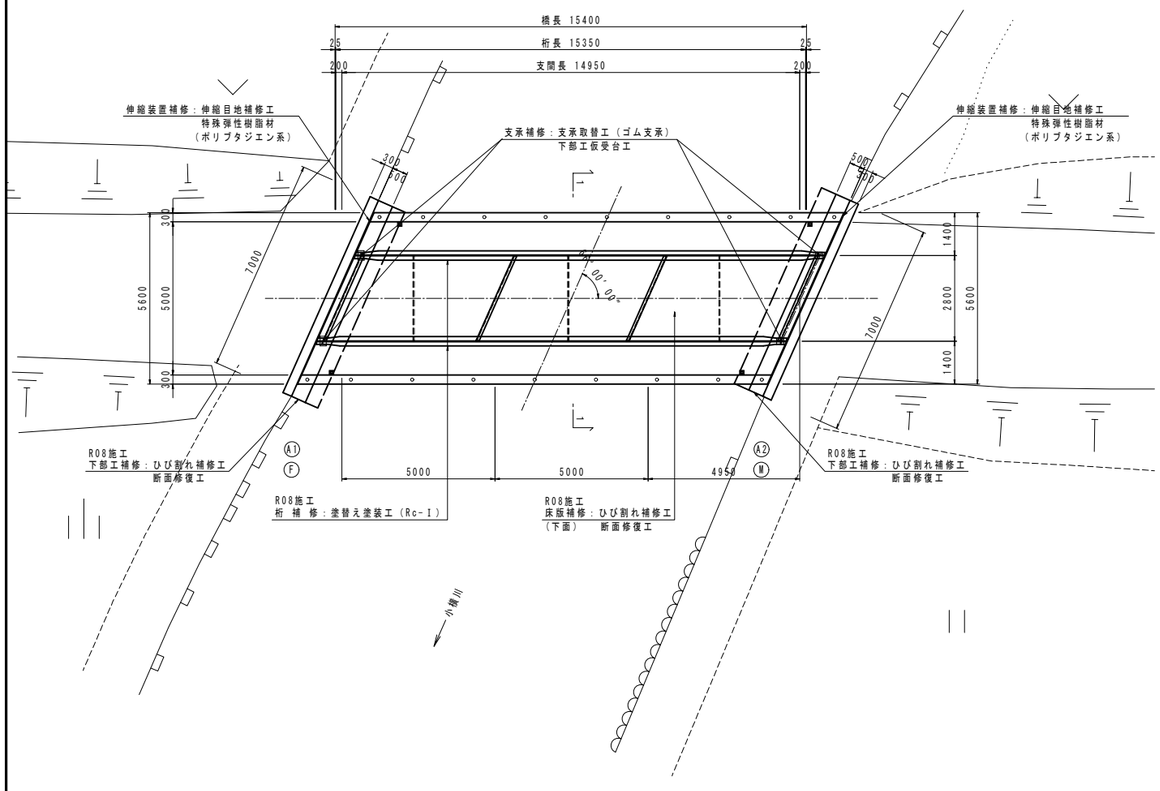
標準断面図　S=1:50



小横川橋 諸元

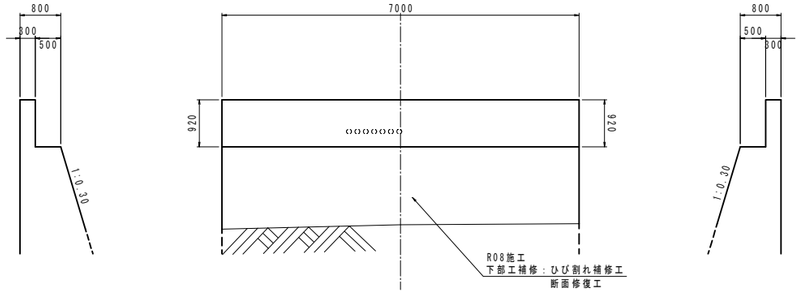
路線名		町道7号線
橋格		不明
形式		鋼飯桁橋（合成）
橋長		L＝15.60 m
支間長		L＝14.95 m
幅員		W＝5.0m
縦断勾配		I＝0.2%
横断勾配		I＝1.0 %
斜角		θ＝66°
上部工	舗装	コンクリート舗装 t=不明
	設計荷重	不明
	雪荷重	不明
	コンクリート	不明
	鉄筋	不明
下部工	形式	不明
	基礎形式	不明
	設計震度	不明
	コンクリート	不明
	鉄筋	不明
添架物		NTT
適用示方書		道路橋示方書　「S42年通達」
竣工年月		昭和46年（1971年）
補修経歴		不明

平面図　S=1:100

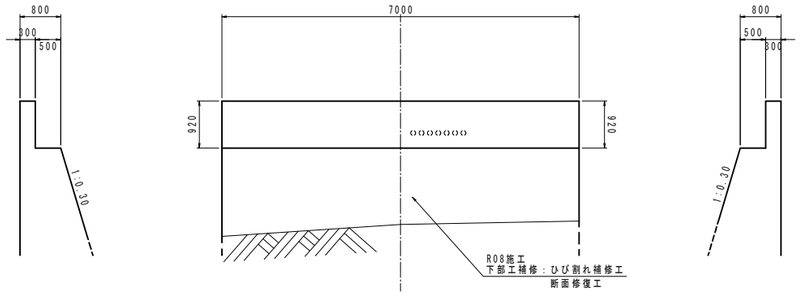


下部工　S=1:60

A1橋台



A2橋台



補修工法一覧表

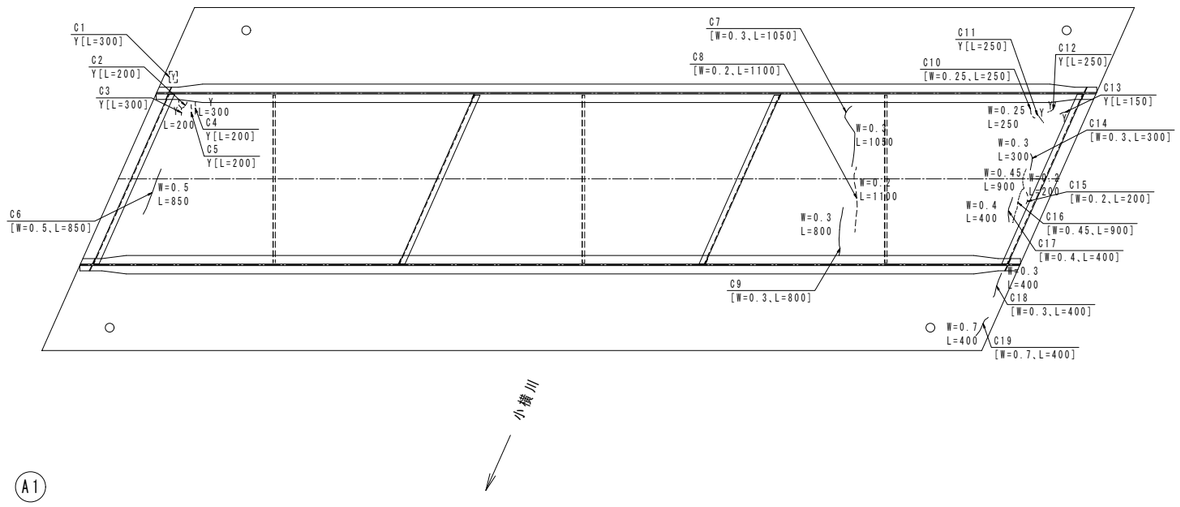
部材・部位名	工法	工種・材質等
桁（主桁・横桁）	塗替え塗装工	Rc-Ⅰ塗装系
床版	ひび割れ補修工	低圧注入工
	断面修復工	左官工法
支承	支承取替工	ゴム支承
	下部工仮受台工	コンクリート
伸縮装置	伸縮目地補修工	特殊弾性樹脂材（ポリブタジエン系）
排水装置	排水管取替工	ステンレス
下部工	ひび割れ補修工	低圧注入工、充填工
	断面修復工	左官工法

令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業小横川橋補修工事				
番号	1／9	補修一般図	縮尺	図示
町道7号線 辰野町 小横川橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
辰野町				

町道7号線　小 横 川 橋　床版補修図 その1

ひび割れ補修工（低圧注入工）

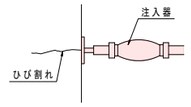
床版（下面）　S=1:50



ひび割れ注入工

（ひび割れ幅 0.2mm以上 W <1.0mm）

遊離石灰を伴わない場合



ひび割れ部の清掃

↓

注入用パイプセット　　シール材を用いて注入座金を取付、接着固定させる。
座金の中心はひび割れの中心に合わせる。

↓

ひび割れ面シール　　ひび割れ部をシール材で確実に目止めし、注入材が流出しないようにする。

↓

注 入 工　　注入材を充填した注入器具を座金に取付、加圧用ゴムを装着して注入する。
注入量の確認・養生

↓

パイプ撤去　　注入材の硬化後、注入器具を撤去する。

↓

シール材撤去　　注入座金を撤去し、シール材をディスクサンダー等で除去または研磨し、平滑に仕上げる。

↓

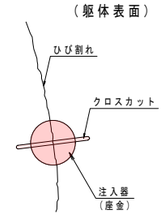
後処理

↓

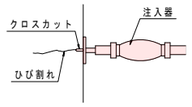
終　了

遊離石灰を伴う場合（クロスカットエ法）

（躯体表面）



（断面図）



ひび割れ部の清掃　　析出物の撤去

↓

析出物の閉塞深さ調査　　電動工具でひび割れに直行する切込み
クロスカットを入れ、クロスカット内部の
ひび割れの空隙を確認し、閉塞深さを測定

↓

注入工の確保　　上記の空隙を確保し注入工として利用する。

↓

注入用パイプセット

↓

ひび割れ面シール

↓

注 入 工

↓

パイプ撤去

↓

シール材撤去

↓

後処理

↓

終　了

通常のひび割れ注入と
同様の工程

損 傷 凡 例

ひびわれ	W=0.2mm	
	W=0.25mm	
	W=0.3mm	
	W=0.4mm	
	W=0.45mm	
	W=0.5mm	
	遊離石灰を伴うひび割れ	

ひび割れ注入集計表の注意事項
・ひび割れ注入工法は、ひび割れ幅が0.2mm以上1.0mm未満のものを対象とする。
・ひび割れ幅で" Y "の表示は遊離石灰を伴うひび割れを示し、クロスカット注入工法による補修を行うものとする。
この場合、ひびわれ幅は遊離石灰で閉塞しているため数量計算上の仮定として、ひび割れ幅を0.6mmとする。
また、注入深さについて注入する壁厚の1/2とする。
・その他のひび割れに関しては通常の低圧注入工法による補修を行う。
この場合、注入深さについては次式により推定値とする。
式：ひび割れ深さ推定値 ＝ 200 × ひび割れ幅

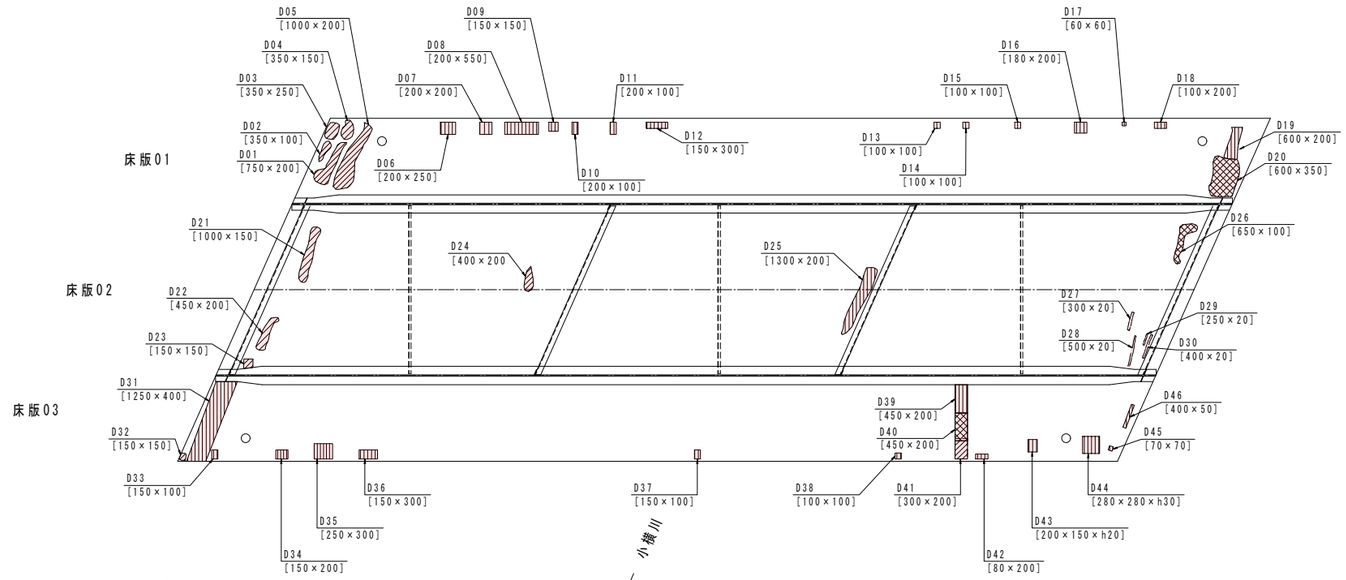
令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業小横川橋補修工事				
番号	2／9	床版補修図その1	縮尺	1：50
町道7号線 辰野町　小横川橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
辰 野 町				

町道7号線　小横川橋　床版補修図 その2

断面修復工（左官工法）

（剥離・鉄筋露出）

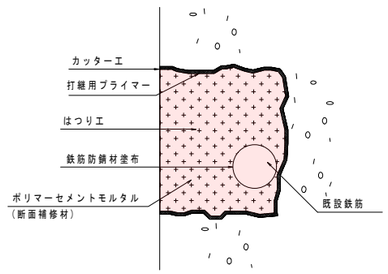
床版（下面）　S=1:50

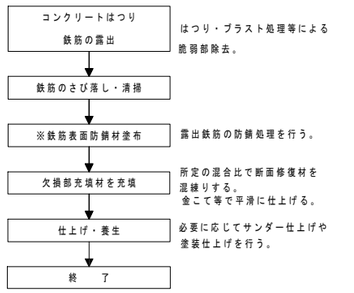


損傷凡例

剥　離	
鉄筋露出	
う　き	
遊離石灰	
漏水・滞水	
腐　食	

断面補修工詳細図





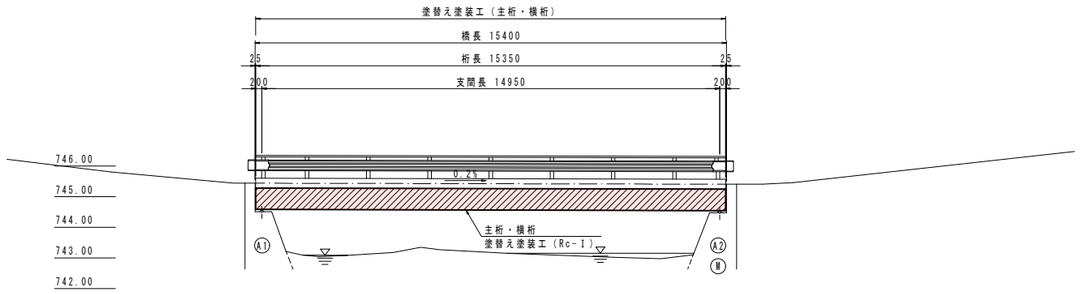
※は鉄筋露出・剥離部に適用する。

令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業小横川橋補修工事					
番号	3/9	床版補修図その2	縮尺	1：50	
町道7号線 辰野町　小横川橋					
設計会社					
測量会社					
調査会社					
辰野町					

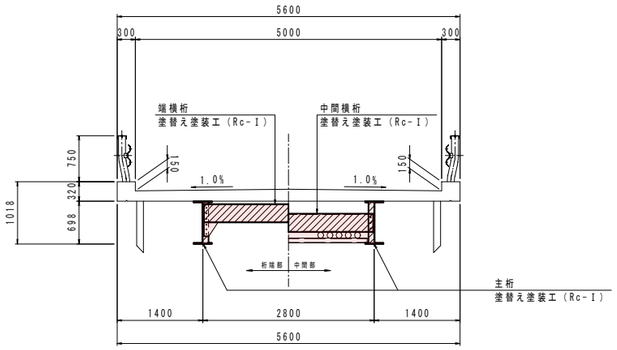
町道7号線　小 横 川 橋　　桁補修図

塗替え塗装工（Rc-Ⅰ塗装系）

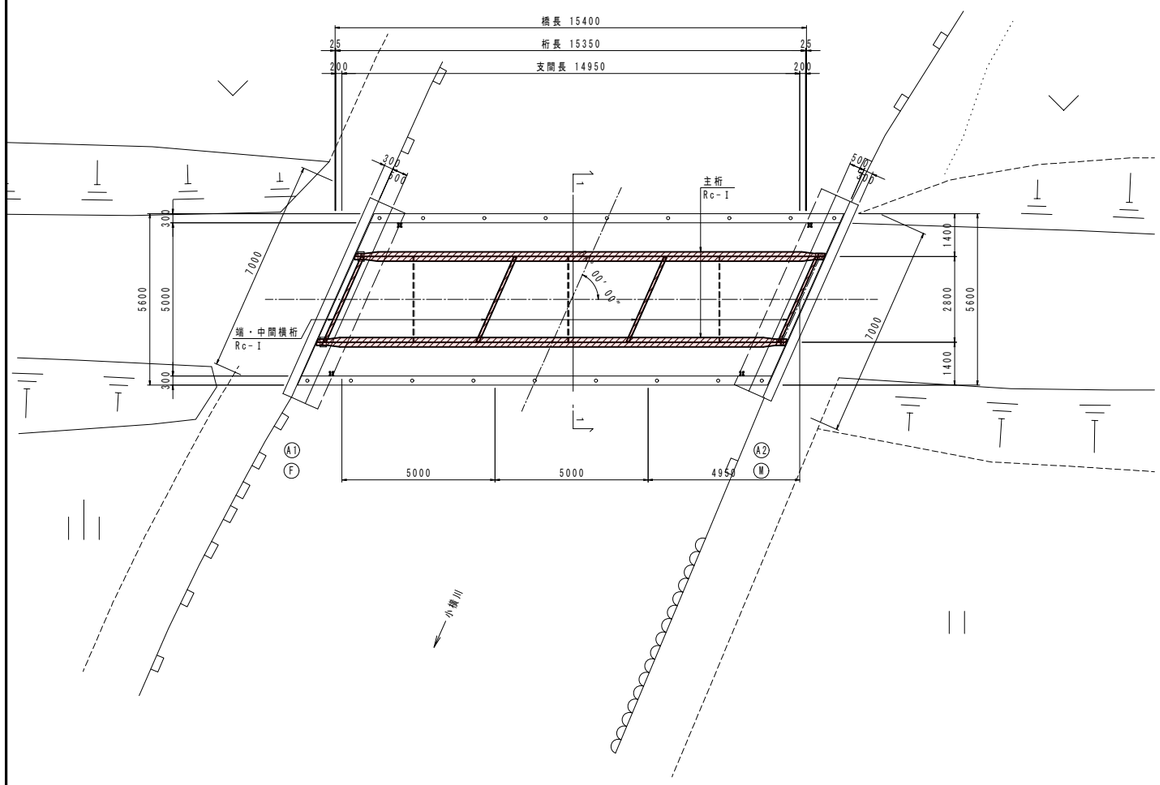
側面図　S=1:100



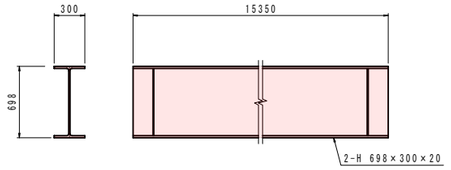
標準断面図　S=1:50



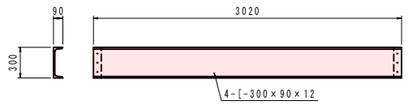
平面図　S=1:100



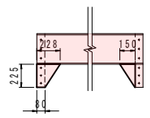
主桁　S=1:30



端・中間横桁　S=1:30



端横桁GP　S=1:30



塗装仕様：Rc-Ⅰ塗装系（スプレー）

塗装工程	塗料名	使用量(g/m2)	塗装間隔
素地調整	1種（レーザー素地調整工法）		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	

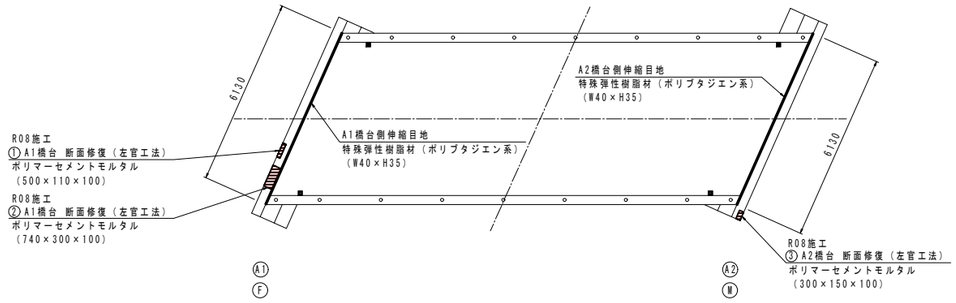
注）
1. 表面塗装色は現橋を基本とするが、施工時に監督員に確認のこと。

令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業小横川橋補修工事			
番号	4／9	桁補修図	縮尺　図　示
町道7号線 辰野町　小横川橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
辰 野 町			

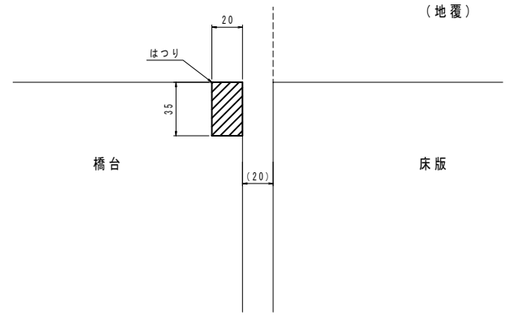
町道7号線　小横川橋　伸縮装置部補修図

伸縮目地補修工　L=12.3m
断面修復工　　N=3箇所

平面図　S=1:100

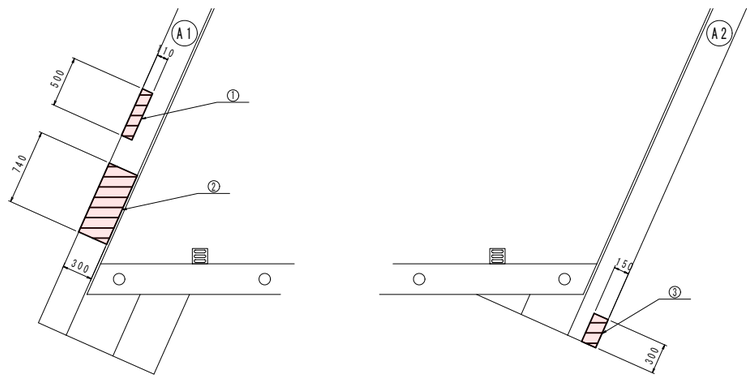


パラペットはつり詳細図　S=1:2



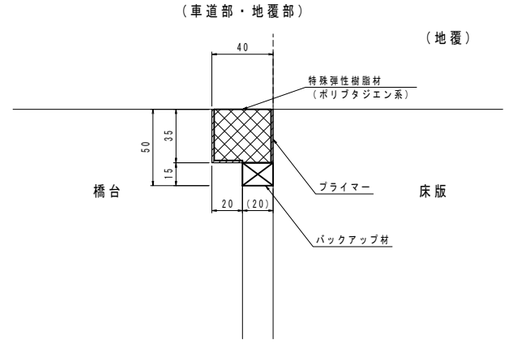
断面修復工詳細図　S=1:30

左官工法　深さ：100mm

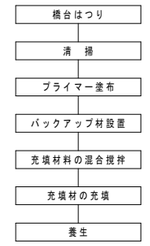


伸縮目地部詳細図　S=1:2

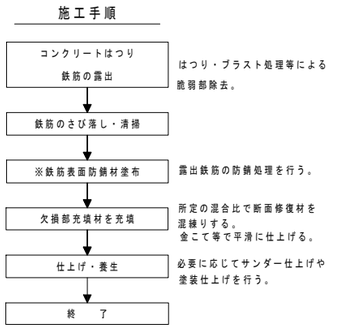
特殊弾性樹脂材（SMジョイントⅠ型同等品以上）



施工手順



施工手順



※は鉄筋露出・剥離部に適用する。

伸縮目地補修工　数量表

名　称	仕様等	単位	数量	備考
伸縮目地補修工	W40×H35	m	12.26	
プライマー	専用プライマー	ml	129.0	塗布量150ml/m2
バックアップ材		m	12.26	
特殊弾性樹脂材	ポリブタジエン系	L	19.0	SMジョイント同等品以上
橋台はつり		m3	0.009	A1：0.0043m3、A2：0.0043m3

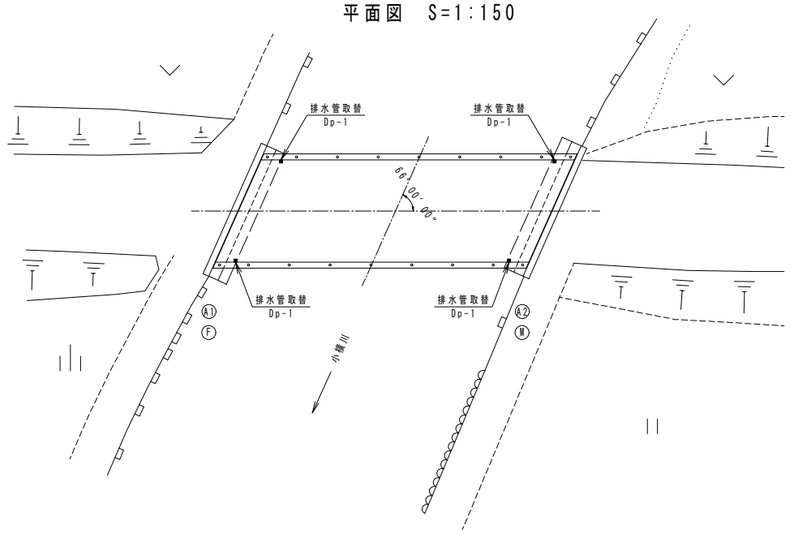
注）1．寸法等は現地計測を行い、必要に応じ図面を修正すること。
　　2．気温が5℃以下の場合は、材料及び施工面を温めること。

令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業小横川橋補修工事					
番号	5/9	伸縮装置部補修図	縮尺	図　示	
町道7号線 辰野町　小横川橋					
設計会社					
測量会社					
調査会社					
辰野町					

町道7号線 小横川橋　排水装置補修図

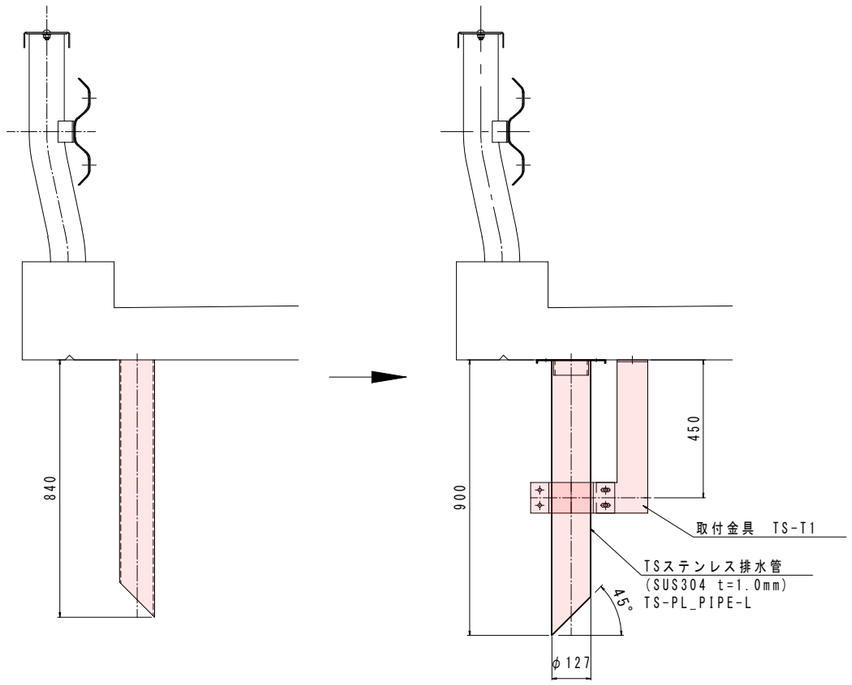
排水管取替工　N=4箇所

平面図　S=1:150



断面図　S=1:10

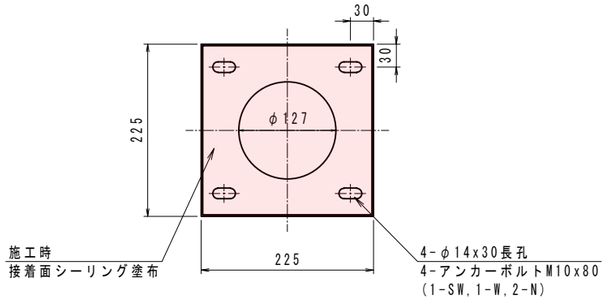
取替前　　Dp-1取替後

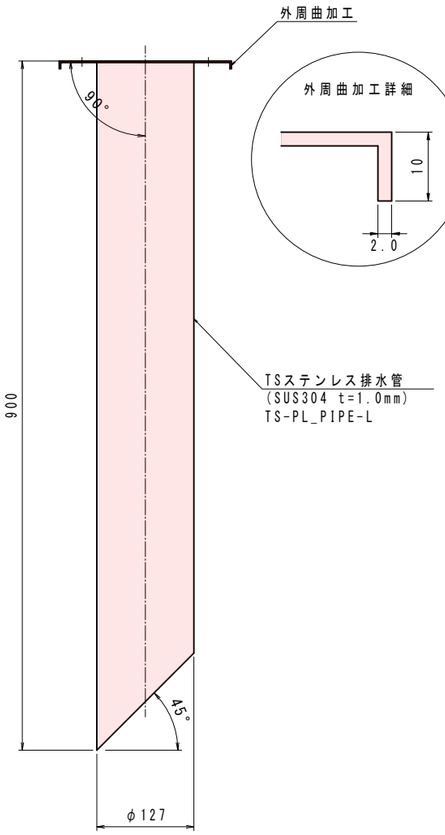


排水装置　S=1:4

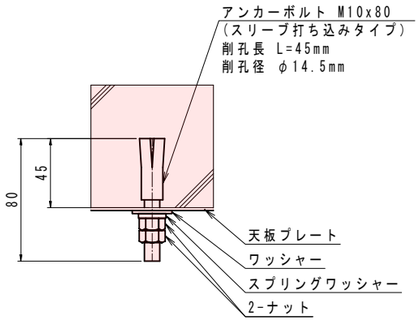
TSステンレス排水装置

天板プレート一体型排水装置 TS-PL_PIPE-L
NETIS No.CB-190003-Aに準ずる

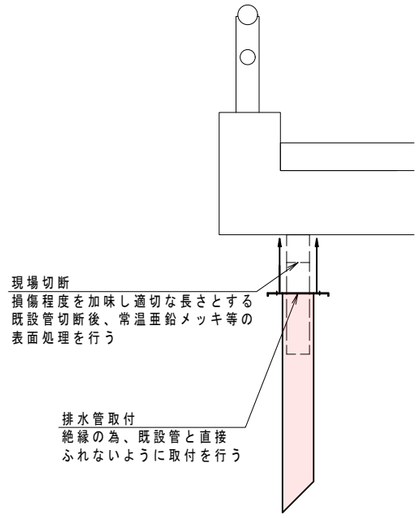




天板プレート取付
アンカーボルト詳細図　S=1:2

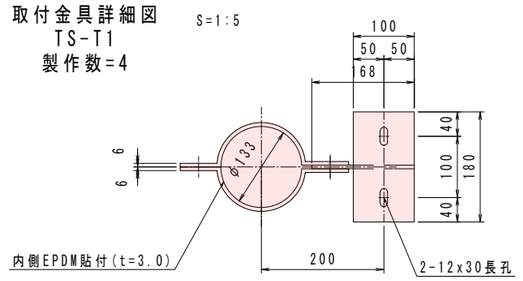


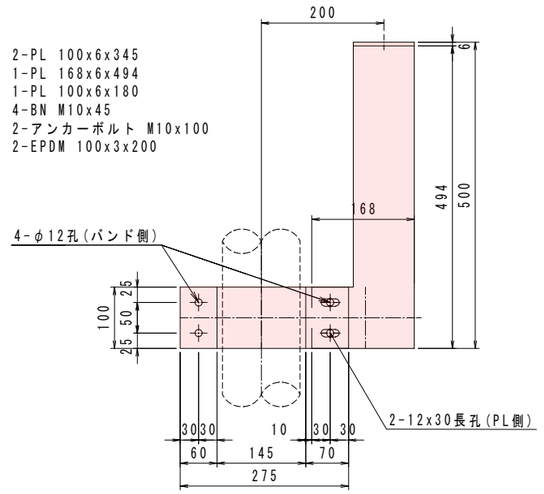
天板取付方法



取付金具詳細図　S=1:5

TS-T1
製作数=4





施工手順

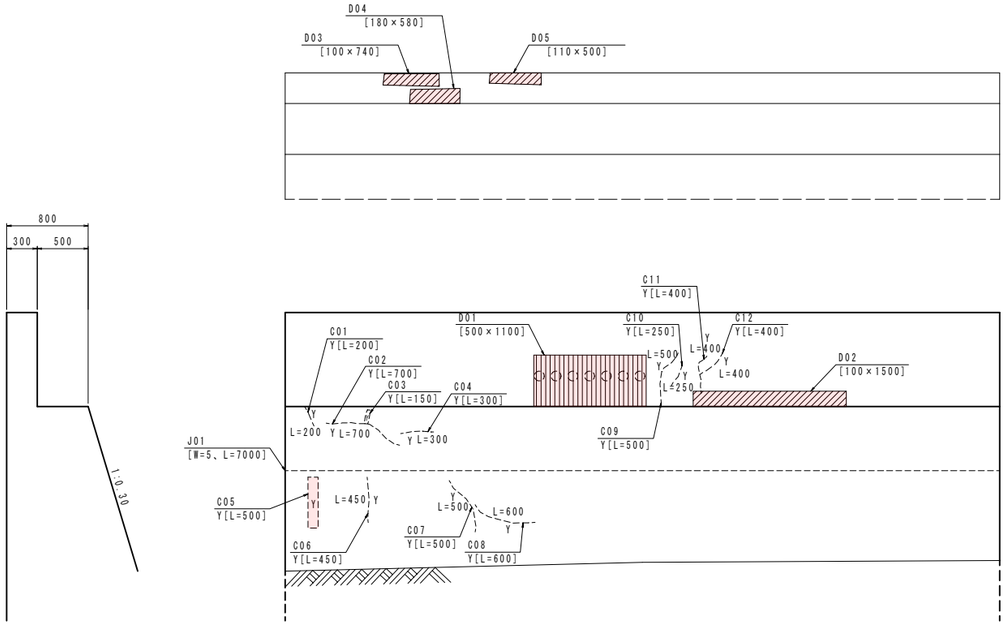
既設排水管撤去
↓
アンカーボルト設置
↓
取付金具設置
↓
排水管取付
↓
後片付け

注）
1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. 天板プレート一体型排水装置は、NETIS No.CB-190003-Aに準ずる。
4. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し
   耐食性向上の措置を講じる。
5. 現地調査にて寸法確定後製作すること。

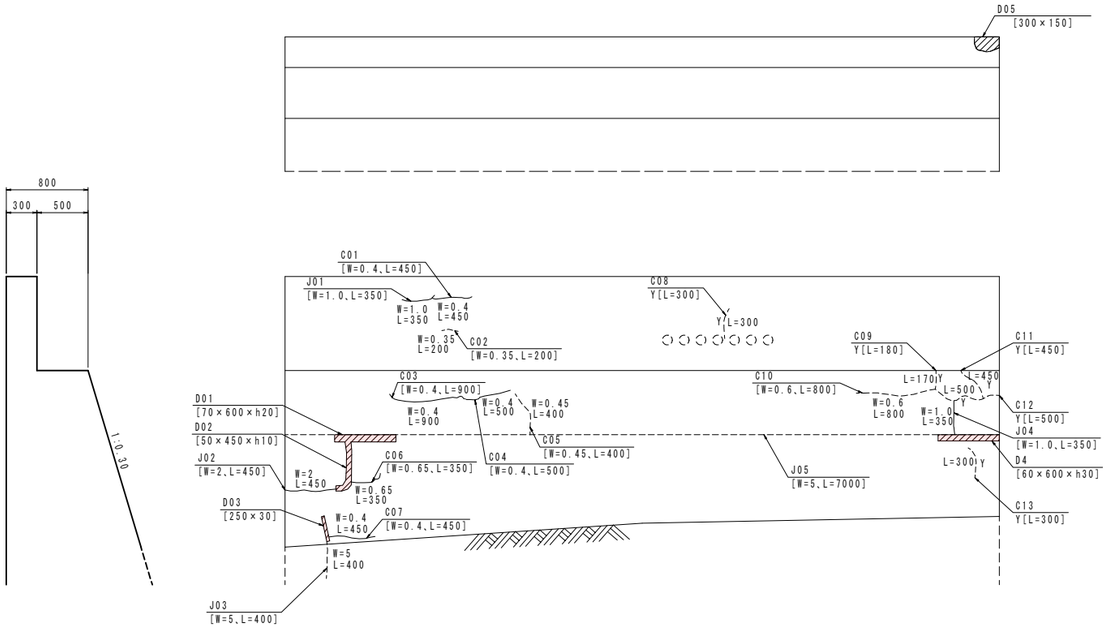
令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業小横川橋補修工事				
番号	6/9	排水装置補修図	縮尺	図示
町道7号線 辰野町 小横川橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
辰野町				

町道7号線　小 横 川 橋　　下部工補修図 その1

A1橋台　S=1:30



A2橋台　S=1:30



損 傷 凡 例

ひびわれ	W=0.35mm	
	W=0.4mm	
	W=0.45mm	
	W=0.6mm	
	W=0.65mm	
	W=1.0mm	
	W=2.0mm	
	W=5mm	
剥　　離		
鉄筋露出		
う　　き		
遊離石灰		T
漏水・滞水		
腐　　食		
そ の 他		

ひび割れ注入集計表の注意事項

・ひび割れ注入工法は、ひび割れ幅が0.3mm以上1.0mm未満のものを対象とする。
・ひび割れ幅で”Y”の表示は遊離石灰を伴うひび割れを示し、クロスカット注入工法による補修を行うものとする。
この場合、ひびわれ幅は遊離石灰で閉塞しているため数量計算上の仮定として、ひび割れ幅を0.6mmとする。
また、注入深さについて注入する壁厚の1/2とする。
・その他のひび割れに関しては通常の低圧注入工法による補修を行う。
この場合、注入深さについては次式により推定値とする。
式：ひび割れ深さ推定値 ＝ 200 × ひび割れ幅

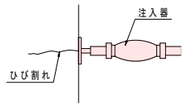
令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業小横川橋補修工事					
番号	7/9	下部工補修図その1	縮尺	1：30	
町道7号線 辰野町 小横川橋					
設計会社					
測量会社					
調査会社					
辰野町					

町道7号線　小 横 川 橋　　下部工補修図 その2

ひび割れ注入工

（ひび割れ幅 0.3mm以上 W <1.0mm）

遊離石灰を伴わない場合



ひび割れ部の清掃

注入用パイプセット
シール材を用いて注入座金を取付、接着固定させる。
座金の中心はひび割れの中心に合わせる。

ひび割れ面シール
ひび割れ部をシール材で確実に目止めし、注入材が
流出しないようにする。

注 入 工
注入材を充填した注入器具を座金に取付、
加圧用ゴムを装着して注入する。
注入量の確認・養生

パイプ撤去
注入材の硬化後、注入器具を撤去する。

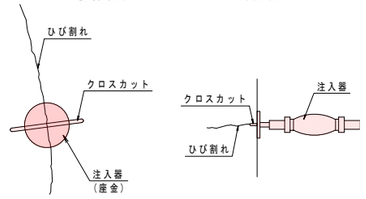
シール材撤去
注入座金を撤去し、シール材をディスクサンダー等で
除去または研磨し、平滑に仕上げる。

後処理

終　了

遊離石灰を伴う場合（クロスカット工法）

（躯体表面）　（断面図）



ひび割れ部の清掃
析出物の撤去

析出物の閉塞深さ調査
電動工具でひび割れに直行する切込み
クロスカットを入れ、クロスカット内部の
ひび割れの空隙を確認し、閉塞深さを測定

注入工の確保
上記の空隙を確保し注入工として利用する。

注入用パイプセット

ひび割れ面シール

注 入 工

パイプ撤去

シール材撤去

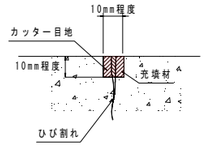
後処理

終　了

通常のひび割れ注入と
同様の工程

ひび割れ充填工詳細図

ひび割れ幅(1.0≦W)



ひび割れ部のU字カット
ひび割れに沿ってU字形に、
コンクリートをカットする。

清　掃

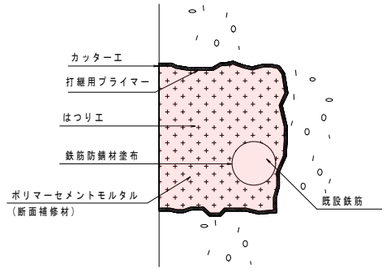
プライマー塗布
材料を刷毛等を用いて適当量塗布する。

充填材の充填
所定の混合比で充填材を混練りする。
金ごて等で平滑に仕上げる。

養　生

終　了

断面補修工詳細図



コンクリートはつり
鉄筋の露出
はつり・ブラスト処理等による
脆弱部除去。

鉄筋のさび落し・清掃

※鉄筋表面防錆材塗布
露出鉄筋の防錆処理を行う。

欠損部充填材を充填
所定の混合比で断面修復材を
混練りする。
金ごて等で平滑に仕上げる。

仕上げ・養生
必要に応じてサンダー仕上げや
塗装仕上げを行う。

終　了

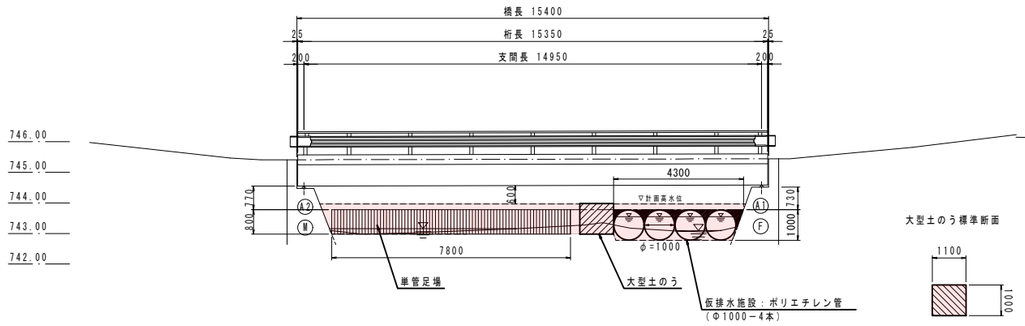
※は鉄筋露出・剥離部に適用する。

令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業小横川橋補修工事				
番号	8／9	下部工補修図その2	縮尺	－
町道7号線 辰野町　小横川橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
辰 野 町				

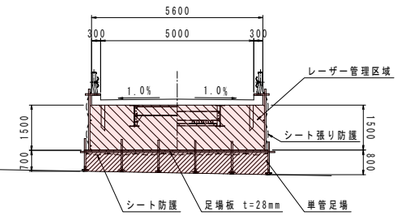
仮設図（参考図）

桁補修（塗替え塗装工）時

側面図　S=1:100



断面図　S=1:100

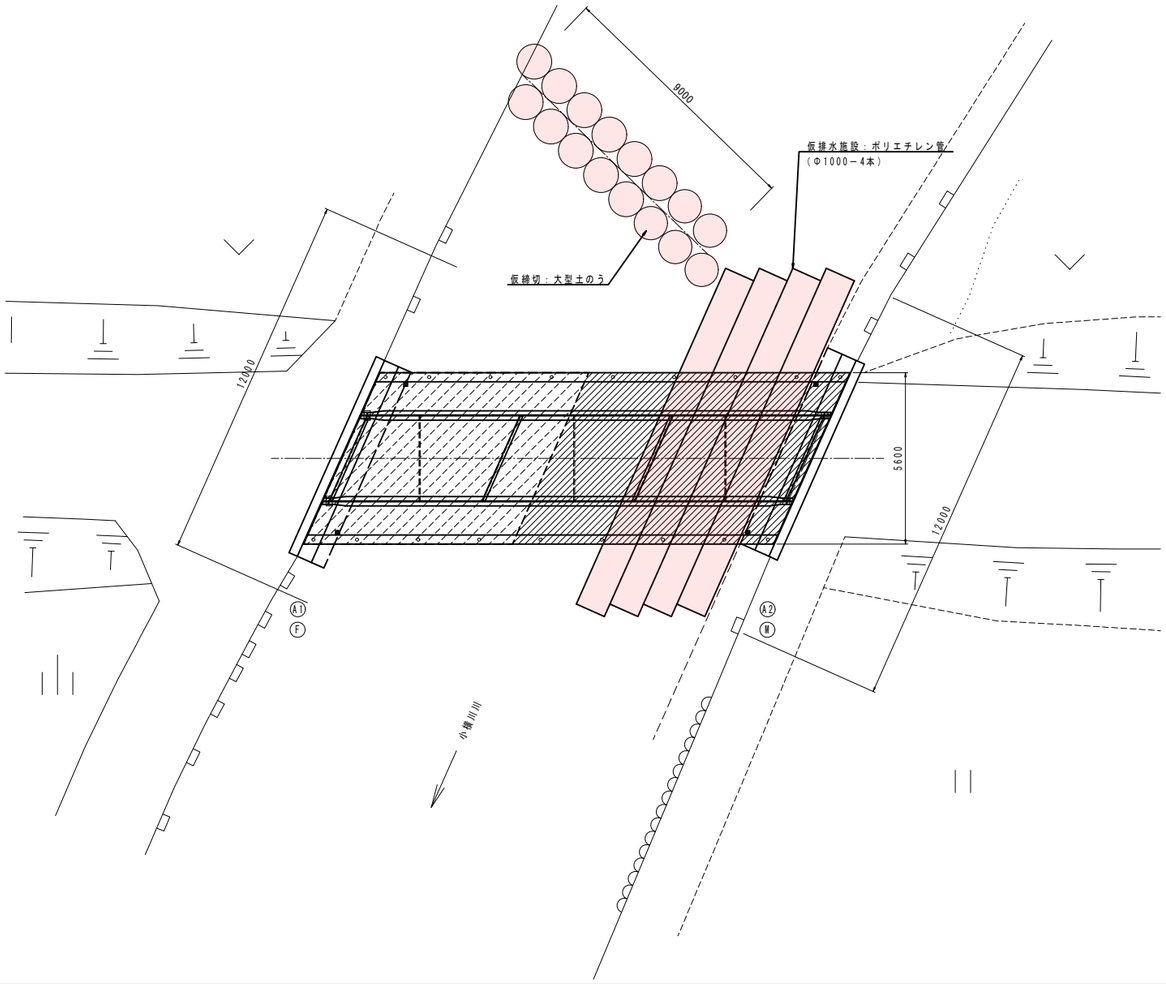


大型土のう標準断面

（降雨強度式「諏訪、確率年1年」）

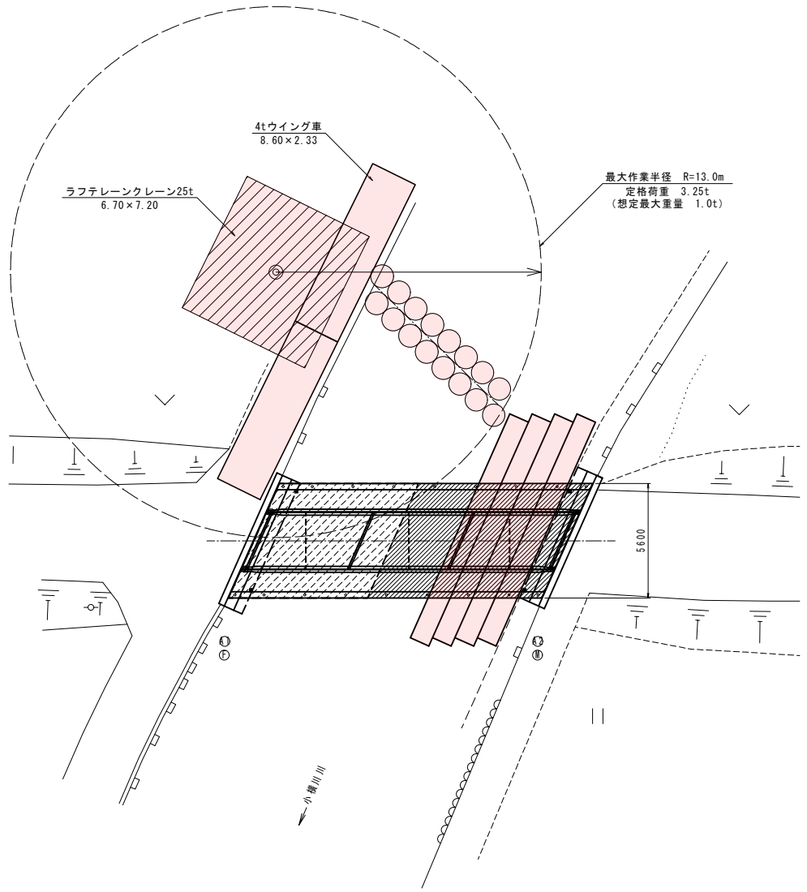
非出水期（10月～3月）：工事中見込み流量　19.7 m3/sec

平面図　S=1:100



配図平面図

S=1:150



注）1. レーザー装置はトラック上に搭載されている。
　　駐車位置は、右岸上流部としたが駐車が困難な場合は発注者と協議のこと。
　2. 単管足場は河床より構築する計画としている。
　3. 素地調整や塗装時は防護シートを全面に設置すること。
　4. 図面に記載している寸法は参考値である。

令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業小横川橋補修工事				
番号	9/9	仮設図（参考図）	縮尺	図　示
町道7号線 辰野町　小横川橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
辰野町				